

開催日：2021 年 10 月 15 日（金）18：00～20：00

会場参加者 15 名中 回答 14 名/zoom 参加者 110 名中回答 28 名

## 1. お住まいの地域をお知らせください

青森県内	41
神奈川県	1
計	42

## 2. 今回セミナーに参加した理由をお知らせください（複数回答）

向学のため	25
興味があった	22
業務に役立てるため	21
計	68

## 3. 今回のセミナーは何で知りましたか

所属機関での掲示等	28
弘前大学がんプロホームページ	8
弘前大学がんプロ Facebook	3
知人からの紹介	5
その他：ちらし	1
その他：言語聴覚士会 HP	1
計	46

## 4. 職種をお知らせください

学部学生	1
大学院生	1
医師	5
看護師	13
薬剤師	2
社会福祉士	2
作業療法士	8
理学療法士	8
言語聴覚士	1
計	41

## 5. 専門職（例えば看護師）としての経験年数をお知らせください

1 年未満	1
1～9 年	10
10～19 年	12
20～29 年	8
30 年以上	9
計	40

## 6. 講演についてお知らせください

参考になった	39
どちらともいえない	2
計	41

## 7. 講演の感想等をお知らせください

- かなり専門的ではありましたが、日常では難しく考えての行動はありません。しかし何か問題を感じた時には今日の講義は役立つと思います。例えば患者様からの質問、Dr.には直接聞けない時には、こういうように聞いてみるといい、とか、今あなたの状態はこんなようなので、受診の時はこう聞いてみたら、ご家族にはそろそろこのように運動するといいかも、など。知っているのと知らないとは話も違ってきます。ありがとうございました。
- がんリハビリテーションの講演は初めて聞きました。大変勉強になりました。
- がん患者さんとの向き合い方や、関わり方の大切さを再認識した。“苦痛”をとりのぞくための介入を、リハビリテーションとして関わっていけるようにしたいと思った。
- とてもわかりやすかったので勉強になりました。今後すぐに活かせる内容でした。
- 医師とリハビリテーション技師さんの連携が深まりそうないい内容でした。
- 医療従事者ではありませんが、患者さんとの向き合い方、心がけや医療支援の内容など、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 勤務している病院では癌リハビリテーションを行っていることが少ないため勉強になりました。ケモの副作用で末梢のしびれを訴える患者さんが多く、看護師でもできることがあると感じました。

- 実践的な評価の視点などを知ることができて良かった
- 他の疾患以上に患者様と向き合い関わっていく大切さを改めて学ぶことができました。
- 他職種の考え方が勉強になった。
- 他職種連携の事例をもっと聞きたかった
- 多職種での連携は施設・病院でもよりよい生活を送っていただくためには不可欠なことでありと再認識いたしました。
- 多職種での連携は必須だと思っています。業務が優先となり、がんリハを行っている患者さんの情報共有ができていない現状や、職種に任せっきりになっている現状があります。お互いにどのような実践をしているのか、アセスメントしているのかが少しは理解するきっかけとなったと感じました。
- 大学院に所属しているため、OTの方と接する機会は非常に限られますので、本日の講演を聞いてOTの方の考え方やスキルを学ぶことができ非常に有意義でした。ありがとうございました。
- 大変参考になりました。臨床で活用できる新たな知識を得ることができました。
- 日頃、自分が行っているケアを見つめ直す良い機会となりました。がんのリハビリテーションに関する研修は初めてだったのでNSの私にも参考になることばかりで、とても良かったです。ありがとうございました。
- 非常に役立つ講演内容だったと思います。
- 勉強になりました。
- 両先生の熱意が感じられた
- 臨床に出てからの経験年数が少ないため、知識不足ではありますが、がん治療にたずさわるスタッフとして必要な知識、心がまえを学ぶことができました。がんリハの意義を考えながら、今後の臨床に活かしていこうと思います。ありがとうございました。

- 櫻井先生の患者さんとの関わり方の実例、特にスカーフでカラーを隠す動画が、次の誰かにも役立つかもしれないという学びとして活用されていたので、これからは、積極的に動画活用してみたいと思いました。

8. がんリハビリテーションを実施するうえでの悩みごとや困りごとはありますか？

ある	20
ない	17
計	37

9. 悩みや困りごとはどのようなことでしょうか

- がんリハビリテーションにおける目標・ゴール設定の難しさ。治療中(化学療法・放射線治療)の運動負荷について。がんに関連する障害(抹消神経障害など)に対する対応
- がんリハ患者の情報共有
- がん患者の効果判定をする指標を何で評価し、リハの関わりがどのような効果があるのか数値で表しにくいこと。
- トイレに自力で行きたいという患者様が多いですが、NSからみると体力的に難しいのでは、と思う場面があります。トイレまで歩くと疲れてしまうし、悩むところです。
- マンパワー不足
- 運動する上でのリスクや負荷量設定など
- 運動負荷量、リスク管理など

- 化学療法による有害事象とリハビリテーションの遅れ。  
化学療法による有害事象と機能低下。  
化学療法による有害事象と患者さんの意欲低下
- 患者さんが体調不良の際にどこまでリハビリを押し進めるべきか悩む時がある。
- 骨転位のある患者に対し、動けない現状と動きたい患者の思いに悩む事があります。
- 算定に向けて院内での運営方法やカンファレンス等の開催について  
また、がんリハに対する認識や関心の低さ・個人差が大きいこと
- 終末期の患者さんから「もう〇〇できないんだよね」など、悲観的な発言が聞かれた際に傾聴しかできなかったです。どのような対応をすれば良かったのかなと思っていました。
- 精神面での介入
- 他職種理解
- 予後説明(麻痺などの神経症状の改善度合いなど)
- 率直に相談できる人がいなく、患者様の対応で以前関りで悩んだことがありました。
- 老健施設で勤務しております。ですので、所謂終末期の方との関わりがメインになります。少しでも穏やかに過ごしてほしい、その考えではありますが医師や看護師、介護士がどうしても過介助になっているのが現状でした。出来ることは行う、それがリハビリの基本だと思いますし利用者さんもそれを望んでいるのに実際の生活場面では反映されないジレンマを感じていました。

10. 次回も「がんのリハビリテーション」の研修会があれば、また参加したいですか？

参加したい	41
計	41

## 11. 今後研修を受けたいリハビリテーションの分野がありますか？

周術期リハビリテーション	21
緩和的・終末期リハビリテーション	26
小児・AYA 世代	10
化学療法	21
放射線治療	15
骨転移	13
がんのロコモ	1
在宅支援	14
就労支援	8
摂食・嚥下障害	11
リンパ浮腫	14
事例検討会	7
周術期リハビリテーション	21

## 12. その他、ご意見などありましたらご記入ください

- ST の諸先輩が関わっている事例も取り上げていただければありがたいです。
- 開催時間がやや早く、開始時間に間に合わないため、できればもう 30 分ほど開始時刻を遅くしてほしい。
- 貴重な機会をありがとうございました。今後も研修機会があることを楽しみにしております
- 今回は貴重な機会をありがとうございました。運営おつかれ様でした。
- 初歩的な質問で恥ずかしくてお聞きできませんでしたが、櫻井先生のスライドにあった省エネトレーニングの例で「夜間にシャワーを浴び

る」とあったのが気になりました。どういったことなのか、どこかでまたお伺いしたいです。この度はありがとうございました。